

奈良県 大和高原

生き方のヒントを
探しに旅に出る

ライフスタイル Report

三重県と境を接する奈良県東部は、大和高原と呼ばれる自然豊かなエリア。遙か縄文時代から人々が暮らしていたという、山林と水に恵まれた地だ。今ものどかな原風景が残る一方、鉄道や道路が整備され、大阪、京都、名古屋へ1時間～1時間半という便利さ。移住してくる人が多いのもなずける。そこで、この地で見つけたライフスタイルをいくつかご紹介。田舎暮らしのイメージをふくらませたら、まずは旅に出て現地の風を感じてみよう。



社長 山口貴義さん(右)
教育担当 牧野裕三さん(左)



▲宇陀の山あいには100棟のビニールハウス。ホウレン草やルッコラ、水菜など、葉もの野菜を中心に育てられている。安全な土と山の湧き水、自家製堆肥で育った野菜は、自然な甘みとみずみずしい食感が印象的

●山口農園

有機野菜と有機ハーブの生産から販売まで。スーパーなどで買えるほか、地元道の駅や直売所でも購入できる。

☎0745-82-2589(受付:平日8時～17時) 園宇陀市榛原大貝332

CASE:1

ビジネスとしてやっていく農業を広く伝えたい。

人に優しく、地球に優しい農業に取り組む山口農園は、美味しい野菜を作っているだけではない。持続的な農業の仕組みづくりに取り組んでいる。仕事は生産性を向上するため完全分業制。「農業は経営であり、安定供給することは当然」と山口さんは話す。そして、そのノウハウはアグリスクールで伝えられ、農業社会全体を変える一端をも担う。農業に興味はあるが生活していけるか不安...そんな思いを持っている方の背中をポンと押してくれる。

「オーガニックアグリスクールNARA～農業実践科」

全国でもめずらしい農業生産法人が母体となって運営する農業の職業訓練学校。半年間のカリキュラム。

学校の
特色

- 1: 一般的な学校では伝えにくい経営的な現場の視点から実践的に有機農業を体感・学習できる。
- 2: 各所轄のハローワークを通じて入校すれば、期間中、有機農業を勉強しながら生活給付金(所定の要件が必要)の支給を受けられる。

農業を行う上での必要な一般的な知識と技術を習得できる。独立後もしっかり農業経営をおこなえるように経営的視点から幅広く学べるのが特徴。「まったくの初心者でも全然大丈夫です」と山口さん。他に数日間体験できるコースもあり、相談に乗ってもらえるので気軽に問合せを。

宇陀市 information

旧城下町や街道など落ち着いた風情が残る町

- 人口 34195人
- アクセス 名阪国道針ICよりR369、R370経由